



— 0歳から楽しむ! —

クラシックからJAZZ

参加型コンサート

赤ちゃんから大人まで、みんなで楽しめる音楽の時間

Let's
enjoy
Music!



KAZUHIRO ODAGIRI
— DRUMS —



TAKASHI SUGAWA
— BASS —

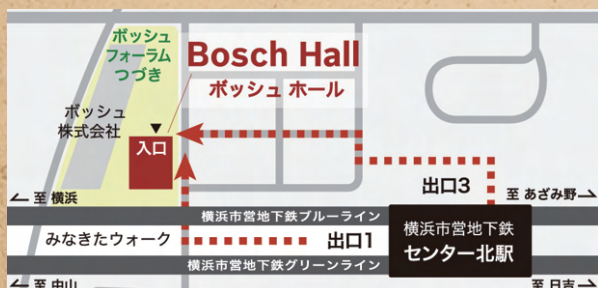


DAVID BRYANT
— PIANO —



2026. 11. 8 SUN.
18:45 OPEN 19:15 START

会場 ボッシュホール
(都筑区民文化センター内)



〒224-0003 横浜市都筑区中川中央1丁目9番33号
横浜市営地下鉄「センター北駅」出口1、3から徒歩約5分

入場料 (税込み・全席自由)

前売券 3,500 円

当日券 4,000 円

中学生以下
無料!
(100名限定)

※0歳からご入場いただけます。親子室・授乳スペースはございません。

チケット購入方法

2026年9月15日(火)13時～

- 会場にて直接購入
ボッシュホール
受付時間 9:00～20:00 (休館日を除く)
- 主催者にお問合せ、ご予約のうえお引き取り
オダギリ企画
TEL: 090-8372-9366 (留守番電話対応)
Email: odgrkik@gmail.com

主催・問い合わせ

オダギリ企画 Email: odgrkik@gmail.com





- PROFILE -



KAZUHIRO ODAGIRI
- DRUMS -

小田桐 和寛 (おだぎり かずひろ)

1987年横浜の音楽一家に生まれ、幼少期から音楽に触れて育った。12歳から打楽器、17歳からドラムを始め、国立音楽大学へ進学後はクラシックとジャズを学んだ。在学中から渡辺貞夫(sax)、小曾根真(pf)など日本を代表する音楽家たちに才能を見出され、卒業時には山下洋輔賞を受賞。その後ボストンのバークリー音楽へ特待生として留学、首席で卒業した。在学中からBlue Note NY、Beantown Jazz Festival、WBGO Jazz 88.3FM等に出演し、卒業後はニューヨークへ拠点を移した。マリア・シュナイダー、イエロージャケッツ、すぎやまこういち、黒田卓也、馬場智章、東京都交響楽団など、ジャンルを超えて様々なミュージシャン達と共演。Jazzを基盤にFunk、Rock、R&B、Reggae、Brazilian、Afro-cuban、Madagascar音楽に携わり、ジャンルの制限を受けないその演奏スタイルは各方面から注目を集めている。
"CANOPUS" 海外アーティスト契約、野中貿易 Istanbul"Agop" エンドーサー。



DAVID BRYANT
- PIANO -

デイビッド・ブライアント

ニューヨーク、ブルックリン生まれ。世界のジャズシーンで注目を集めているピアニスト／作曲家／マルチンストゥルメンタリスト。アルバム "Dirt... And More Dirt" by ヘンリー・スレッドギル、"Serenade for Horace"、"Return of the Jazz Communicators" by ルイス・ヘイズ、"Synovial Joints" by スティーブ・コールマン、"Of Song" by マーカス・ストリックランド、"Water and Earth" by ジェレミー・ペルトや、映画 "Leatherheads" のサウンドトラックではブライアントの幅広く、繊細で、オリジナリティに溢れた演奏が聴き取れる。共演アーティストは、クリスチャン・マクブライド、デビッド・マレー、日野皓正、ラビ・コルトレーン、ロイ・ヘインズ、デーブ・ホーランド、デルフィヨ・ルサリス、マーカス・ギルモア、ケニー・ウィーラー、ボブ・ブルックマイヤー、ジミー・ヒース、黒田卓也など。2024年1月に高く評価されたデビュー・スタジオ・アルバム「Coat of Arms」をリリース。彼の通常のトリオ「Trismic」には石若駿とマーティ・ホロウベクが参加しており、グレッグとマットが特別ゲストとして出演している。



TAKASHI SUGAWA
- BASS -

須川 崇志 (すがわ たかし)

東京在住のジャズベーシスト、チェロ奏者。群馬県伊勢崎市出身。11歳からチェロ、18歳からコントラバスを始める。ソロを始め、様々なフォーマットでの即興演奏を主軸に活動。米ボストンのバークリー音楽大学を卒業後、ニューヨークへ移住。ピアニストの菊地雅章氏に出会い、その音楽哲学から大きな影響を受ける。帰国後、日野皓正クインテット、渡辺貞夫カルテットのメンバーとして活動。現在は、自身が主宰する「Banksia Trio」(林正樹、石若駿)をはじめ、峰厚介カルテット、森山威男クインテット、八木美知依トリオなどのグループに参加している。東京JAZZやモントルー、ロンドン、デトロイト、メルボルン、メールスといった国内外のフェスティバルに多数出演。また、俳優・金子あいの舞台「平家物語」でのソロ演奏や、写真展、ダンス、パブリックアート作品のための音楽制作も手掛ける。2018年にデビューアルバム『Outgrowing』(Leo Genovese, Tom Rainey)を発表。Banksia Trioでは最新作の『LIVE』を含め現在までに4枚のアルバムをリリースしている。出身地である伊勢崎市の教育大使として、次世代への演奏・講演活動にも力を注いでいる。